

国情研コ 1 号
平成 19 年 4 月 2 日

各目録システム参加機関
図書館事務（部課）長 殿

情報・システム研究機構
国立情報学研究所学術基盤推進部長
安 達 淳
[所印省略]

平成 19 年度遡及入力事業の実施について（照会）

日頃から本研究所の事業に御理解，御協力を賜り，誠にありがとうございます。

さて，本研究所では，別紙 1 「平成 19 年度遡及入力事業について」のとおり，大学図書館等と国立情報学研究所との協同プロジェクトによる遡及入力事業の実施を予定しています。

については，本事業へ御協力いただける場合には，下記の計画書をお送りください。

記

別紙 2-1， 2-2， 2-3 遡及入力事業計画書 [事業(A)]
別紙 2-4 遡及入力事業計画書 [事業(B)]
別紙 2-5 遡及入力事業計画書 [事業(C)]

受付期限：平成 19 年 4 月 27 日（金）必着

本件問合せ先及び計画書の送付先

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 NACSIS-CAT/ILL 担当

TEL：03(4212)2310～12

E-mail：catadm@nii.ac.jp

※ 郵送・メール添付の場合とも，件名は「H19 遡及事業申込」としてください。

以上

平成 19 年度遡及入力事業について

国立情報学研究所では、研究及び教育における情報入手を保障するため、参加館所蔵資料へのアクセス環境の整備を行うことを目的として目録所在情報サービスの多言語化や参照ファイル増加など、各参加館の遡及入力業務を支援してまいりました。さらに、平成 16 年度からは参加館と協同して全体的な遡及入力事業を進めております。

平成 19 年度も、以下の方針に基づいて本事業を継続して実施いたします。

1. 事業計画書による公募方式

入力対象となる資料について、本事業への参加を希望する機関から事業計画書を提出していただきます。

※ 次のサイトから、計画書（MS-word 版）をダウンロードすることができます。

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_info_koubo2007.html

2. 事業の実施

2-1. 事業の種類と実施方式

次の 3 種の事業を実施します。

事業	対象	実施方式	備考
A	大規模遡及入力支援	国立情報学研究所から機関への事業委託	他の資金と併用されスケールメリットが受けられると なおよい
B	自動登録支援	ソフトウェアの貸与	CAT 未登録の電子化された 所蔵データが必要
C	多言語・レアコレクション	国立情報学研究所契約業者による入力	韓国・朝鮮語資料 アラビア文字資料 タイ文字資料・デーヴァナー ガリー文字資料 書誌作成が必要となるよう な資料を中心としたコレク ション

2-2. 事業(A)

2-2-1. 採択数

若干数を予定しております。

2-2-2. 採択基準

申請された計画（冊数・対象資料・全体計画等）から総合的に判断して決定いたします。

2-2-3. 契約形態

国立情報学研究所と実施機関との間において、単年度委託契約を締結します。

2-2-4. 経費

執行可能な経費は、以下のとおりです。

- ・遡及入力外注費

委託額の上限は 1,500 万円です。入力が期限内に完了するよう会計手続き等の期間もご考慮ください。なお、お支払いは原則として事業完了後になりますが、場合によっては仮払いも可能です。

2-2-5. 実施期間

始期は契約が締結された日（平成 19 年 7 月 1 日を予定）とし、終期は平成 20 年 3 月 31 日となります。

2-3. 事業(B), (C)

2-3-1. 採択数

いずれも、若干数を予定しております。

2-3-2. 採択基準

採択にあたっては、以下の項目を考慮します。

- ・ NACSIS-CAT 書誌ヒット率
- ・ コレクション種別・内容・言語
- ・ NACSIS-CAT/ILL サービス実績

2-3-3. 実施期間

採択結果通知後、各機関と調整の上決定します。

3. 注意事項

3-1. 共通

3-1-1. 事業実施に関する注意事項

- (1) 本事業の対象とする資料は、ILL 等外部利用が可能であることを前提とします。
- (2) 入力内容は、NACSIS-CAT の書誌レコード及び所蔵レコードのデータに限ります。ローカルシステム用の入力データは対象外です。

本事業により登録されたデータが必要な場合は、「総合目録個別版」を利用してください。各機関独自形式のデータ納入が必要な場合、作成費用は各機関にてご負担ください。

「総合目録個別版」に関しては、下記の URL を参照してください。

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/options.html#jump7>

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl2/No2/0207.htm>
- (3) 入力データに関するレコード調整等は、通常のレコードと同様に作成館が責任を持つものとしします。
- (4) 資料の装備は各機関で行ってください。入力作業の過程で必要な場合、作業費用は各機関にてご負担ください。

3-2. 事業(A)「大規模遡及入力支援」

3-2-1. 事業実施に関する注意事項

- (1) 各機関における遡及入力計画の前倒し実施を支援し、図書館資料の共同利用を推進することを目的としますので、できるだけ多くの資料を効率的に登録してください。
- (2) NACSIS-CAT の基準を満たす書誌データを作成してください。
- (3) 外注契約の成立後、外注契約書の写しを国立情報学研究所にお送りください。

委託額との間で差額が生じた場合、委託の変更契約を取り交わします。また、委託額が契約額を上回りかつ仮払いをしている場合は、差額について国立情報学研究所から請求書を送らせていただきます。なお、外注契約の冊数が事業計画の90%未満の場合は、委託額の見直しをさせていただきますのでご了承ください。

3-2-2. 計画書記入に際しての注意事項

- (1) 「機関の遡及計画（全体）」には、遡及入力計画の全体像や本申請の目的、本委託以外の資金確保状況等について、記入してください。その他資金の種類（運営交付金、寄付金等）は問いません。
- (2) 「本申請の入力計画」では、全体計画における本申請の位置づけ、年間計画、本委託以外の資金との使途の区別等を説明してください。
- (3) 「本申請の学術研究における意義」では、対象資料を登録することの学術研究における意義、他機関の目録登録への貢献、対象資料の内容等について記入してください。
- (4) 「遡及入力対象資料について」には、内訳を記入してください。言語別、コレクション別、年代別等の区分は機関で決めていただいて結構ですが、図書以外の資料（雑誌やマイクロ資料、視聴覚資料等）は独立してご記入ください。行は適宜増やしてご記入ください。
- (5) 「外注費」には、本委託事業に必要な金額、および機関側で準備可能な金額を記入してください。

3-3. 事業(B)・(C)共通

3-3-1. 計画書記入に際しての注意事項

- (1) 事業実施の結果、計画書の内容と事実が著しく異なった場合は、翌年度その機関の事業を採択しないこととします。特に冊数、ヒット率はできるだけ正確に記入してください。
- (2) 「機関の遡及計画における本申請の位置づけ」(記入必須)の欄には、遡及入力計画の全体像や本申請の目的、この案件が採択されなかった場合、各機関で予算を確保して入力作業を実施する予定があるかどうか等、記入してください。予定がある場合は、確保予定額、入力予定冊数等を記入してください。
- (3) ヒット率はサンプル抽出等により算出してください。
- (4) 「【資料の特色】」にはコレクションの特色、その資料を登録した場合の学術研究に対する意義・貢献等、対象資料の内容について記入してください。(記入必須)
また館報等、コレクションに関する参考文献がありましたら、計画書に添付してお送りください。参照先 URL の記入も可能です。
- (5) 「平成17年度業務分析表の数値」には、平成18年12月8日付で各機関に送付した、平成17年度NACSIS-CAT/ILL業務分析表から、それぞれの数値を書き写してください。「図書書誌新規作成件数」は「H17年度NACSIS-CAT/業務分析表」帳票に、それ以外の項目は「H17年度機関別NACSIS-CAT/ILLサービス品質グラフ」帳票に記載されています。

3-4. 事業(B)「自動登録支援」

3-4-1. 事業実施に関する注意事項

- (1) 自動登録支援は、市販の自動登録ソフト（NC-Auto ver.2）の貸与のみ行います。投入データの作成，データの検証，ローカルへのダウンロード等は，各機関で行っていただくことになります。
- (2) 貸与するソフトには，各メーカーの図書館システムに対応したローカル取込みプログラムはついていません。ローカルへの取込み方法は，各機関にて検討していただくことになります。
- (3) 自動登録については，平成 16 年度，17 年度に実施した「自動登録システム実証実験」の報告書も参考にしてください。

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_info_catpauto2.html

3-5. 事業(C)「多言語・レアコレクション」

3-5-1. 事業実施に関する注意事項

- (1) 事業の対象とする資料は，総合目録データベースでの書誌レコードが未登録のものを中心とします。雑誌も対象です。和漢古書は本事業の対象外です。

また平成 19 年度から，中国語資料は対象外とします。年々，本事業における新規書誌作成率が低下しているためです。

3-5-2. 計画書記入に際しての注意事項

- (1) 「遡及入力対象資料」の冊数について，対象資料に雑誌が含まれる場合は，内数として，冊子数・タイトル数をご記入ください。

4. 今後のスケジュールについて

平成 19 年 4 月 27 日	募集締切（必着）
平成 19 年 5 月中旬	事業の採択可否決定
平成 19 年 6 月	採択可否通知，事業(B)，(C)開始
平成 19 年 7 月	事業(A)の契約（国立情報学研究所⇔受託機関）

【事業(A)の契約後の流れ】

仮払いの場合，請求書の送付（受託機関⇒国立情報学研究所）

↓

外注契約締結（受託機関⇔業者）後，国立情報学研究所へ契約書の写しを送付

↓

- ・外注契約額と委託額との間に差額が生じた場合，委託変更契約を締結
- ・外注契約冊数が事業計画の 90%未満の場合，委託額の見直し
- ・仮払い済で，委託額より契約額が多い場合，差額分の請求書を送付

（国立情報学研究所⇒受託機関）

↓

前払いの場合，請求書の送付（受託機関⇒国立情報学研究所）

↓

委託事業終了後，完了報告書・納品書の写しを送付（受託機関⇒国立情報学研究所）

受託機関より国立情報学研究所へ請求書の送付（完了後支払いの場合）

以上